教育委員提案②

「夏休みの宿題」の戸田市における実態と意義について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

R4「夏休みの宿題」①（PC活用以外）





〇緑の絵、防火ポスター等の図工の作品
〇作文コンクール等への作品の応募
〇読書
〇習字（硬筆・毛筆）
〇国語・算数の確認プリント（丸付け・直しまで）

※小学校低学年が中心

〇暑中見舞いのはがきを実際に出す

等々

◎各種コンクール等への応募等、児童生徒が自分で選択して取り組む。
◎デジタルでは代替できない体験的な活動の充実。



R4「夏休みの宿題」②（PCの活用）

〇デジタルドリルを用いた予習・復習

⇒ジャストスマイルドリル、ドリルパーク、キュビナの活用

〇生育している植物の観察日記

⇒観察した植物の様子を写真に撮ったり絵日記で表現したりして、
それをロイロノート等で提出



〇学習計画表や一行日記、歯みがきカレンダー

⇒スプレッドシートなどに記入し、記録を蓄積しながら提出

〇ＰＢＬで取り組んでいるプロジェクト

⇒成果物やスライドの作成、プロジェクトに関わる情報の収集



＜他にも・・・＞

〇配信したオンデマンド動画の視聴

〇デジタル教科書を活用した音読の練習

〇音楽など、歌唱・器楽で練習したものを動画で提出

「夏休みの宿題」の意義

普段の生活において

○学習習慣の定着
○学習内容の定着
○基礎学力の定着



夏休みの生活において

○自分が好きなことにじっくりと継続的に取り組むことができる。
○１学期の学習内容を基に、さらに学習を深めていくこともできる。
○体験的な学習に時間をかけて取り組むこともできる。



一人一台端末を活用した「夏休みの宿題」のメリット

【児童生徒のメリット】

◎何度も修正し、直すことができる。
◎詳細な記録を瞬時に取ることができる。
◎自分のペースで繰り返し学習し、自己の成長を実感できる。
◎各々の興味・関心に応じ、学習を深めることができる。

【教員のメリット】

◎家庭での学習の成果を評価することができる。
◎長期休業中であっても、取組状況を逐一確認することができる。
◎提出された課題に対して、すぐに評価を入れて返却することが可能　→　負担軽減にもつながる。

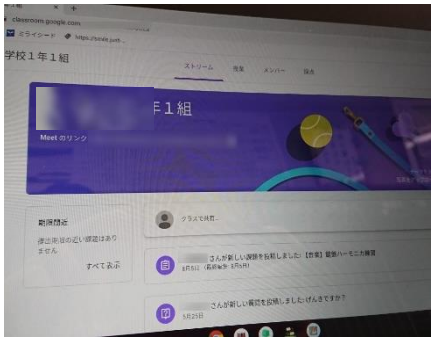
学校・家庭とのシームレスな学びの充実

【学校・家庭とのシームレスな学び】

復習（振返学習）

配信等 → 学習 → 提出 → 回収・添削





家庭学習の課題を配信し、オンラインで課題が提出される。
提出物にはコメントを入れて返却することも可能。
ex）日記、デジタルドリル、音読の録画提出、新聞づくり

予習（反転学習）

配信等 → 学習
対面授業 → 学習





翌日の授業等の予習内容をデジタルコンテンツにより学習し、翌日の授業に臨む。
ex）翌日の学習の見通しにつながる、前提知識や技能の確認

自主学習（発展学習）

対面授業 ⇄ 発展学習



学校の授業内容の追究や作業の継続を、児童生徒が自主的に行う場合や発展学習を家庭学習として課す場合など。
ex）調べ学習、発表資料の加除修正や推敲、プログラミング

今後に向けて

　これまでと大きく違うのは、一人一台端末を持ち帰ることによって、課題の幅が広がり、子供たちの学びがより主体的で創造的になることである。
　これからは、さらに学校と家庭とのシームレスな学びの観点から「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っていく必要がある。
　特に、「個別最適な学び」の本質は、自分で自分の学びを調整しながら、試行錯誤を繰り返すことであるため、宿題を出す際に、端末の活用や課題の在り方について考えていく必要がある。

